

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

万騎が原地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・万騎が原地域ケアプラザエリアは万騎が原・さちが丘・旭南部・二俣川の4連合で構成されており、各連合の地域性やニーズが異なっている。万騎が原地区のように高齢化率が高い地域がある反面、さちが丘や旭南部地区のような子育て世帯が多い地域もあるため、幅の広い地域支援に取り組む必要がある。
- ・二俣川地区は南口の再開発が進められている。今後も引き続き工事の進捗状況や、横浜市二俣川地域ケアプラザ開所も踏まえた地区支援を行った。
- ・連合自治会や地区社会福祉協議会等を始めとした地域の組織や地域住民・ボランティア団体・学校・福祉やその関連領域の専門職及び関連施設等の組織などと連携し地域の生活課題に向けて取り組んだ。
- ・エリア内の医療・介護保険事業所・福祉保健関係機関との連携・ネットワーク構築を強化するための機会を創出出来る様に努めた。
- ・地域の取り組みや実態把握等により住民相互の「つながり」作りや、地域の福祉力を向上させるような事業等の取り組みを行った。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・設立23年目となるため、建物等の安全面に対し検査等怠らないよう充分配慮し、維持管理・施設等の修繕に努めた。
- ・施設整備等の定期点検及び施設内清掃業務（委託業者と職員による清掃）や消防設備の点検等を引き続き実施した。
- ・多目的ホールをはじめとした各貸し室が、市民利用施設として常に清潔で明るく安心して利用出来るよう、施設内の点検・修繕を行った。
- ・施設内清掃に関しては、こまめに行うと共に、記録簿をつけ環境美化に努めた。
- ・施設利用者の意見を頂きながら、室内の備品を整理・管理した。
- ・夏・冬の節電対策を視野にいれ、適切な電力使用を心がけた。また、地域の方にも省エネについての取組みを理解して頂けるように周知を行った。

イ 効率的な運営への取組について

- ・運営の効率化を高める為に外部評価(情報公開)を積極的に受け入れ、コストの削減・効率的な人員配置等の見直しを行った。
- ・管理者自身がスーパービジョンの目的と機能を充分理解し、職員の研修の機会を確保、職員の資質向上に努め、それぞれに職種の専門性を高められるよう環境を整備し、地域に開かれた施設作りに努めた。
- ・事業者の自覚と責任、管理者としての能力発揮のために自らも各種研修に参加し、研鑽を積んだ。
- ・地域や利用者ニーズを把握するために、施設利用者・事業参加者を対象にアンケートを実施し、前向きに検討し改善できることから実行した。
- ・各部門、職員が役割分担を適切に行い、事業を円滑に進めるとともに、それぞれの事業内容を把握・理解し協力体制が出来るように、委員会活動を行い、職場内連携を図った。
- ・管理者は職員の育成、業務への取り組み状況把握、専門性を高めるよう受容、信頼、激励等を行い、職員の士気を高めた。

ウ 苦情受付体制について

- ・サービス利用者からの苦情に対しては、管理者・相談員・介護支援専門員・生活相談員・介護職員・看護師等を交えた検討会を迅速に実施した。検討した内容・結果は詳細に記録し、原則として苦情相談者に経過を含めた報告を行った。但し、プライバシーに関する事項は細心の注意を払い、ケースに応じた対応を実施した。
- ・定期的に事例検討会を行うと共に、苦情発生時の対応マニュアルを活用し、第三者委員と密接に連絡を取り合うことで地域住民や利用者から寄せられた意見・報告・苦情等を詳細に分析・評価しサービスの改善に努めた。
- ・貸室等施設利用時についての苦情受付に関しては、地域活動交流部門等で対応し、所長と区と協議しながら改善を図った。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災に関する対応

- ・利用者、職員の安全対策に万全を期すため、避難訓練、消火訓練（水消火器）を定期的に実施した。避難訓練では、避難経路の確認や適切な判断に基づき、速やかに利用者の安全を確保し避難・誘導する訓練を実施した。また、併設施設と連携し自衛消防訓練も毎月1回実施した。
- ・特別避難場所として災害時の要援護者の受入に関する地域との話し合いや地域防災拠点との連携を図れるよう情報交換や実施訓練等に参加し連携体制を維持した。災害応急備蓄物資の更新・管理・備蓄物のリスト化等を行った。
- ・防災訓練を年2回、まきが原幼稚園・まきが原愛児園・特別養護老人ホームグリーンサイド清盛・万騎が原地域ケアプラザの各施設合同で、南本宿消防署の指導のもと実施した。避難訓練・炊き出しでは防災食を利用者・職員と食した。
- ・H22年度から始まった合同避難訓練についても年に数回実施した。
- ・避難訓練に関しては、実施計画検討会を数回各施設と実施、改善点等検討を行う他、緊急救急対応時の対応方法の研修等に参加し、技術の習得をした。また地域住民の災害救助活動への参加・協力要請も行った。
- ・通所介護・介護予防通所介護部門に関しては、避難訓練週間を設け、一週間、職員・利用者が訓練を受ける体制を構築した。
- ・地域活動交流部門においては、併設施設との避難訓練の曜日が固定化されている状況を受け、貸し室団体を対象に自主事業の場を活用して独自に訓練を実施した。

防犯に関しての対応

- ・施設の防犯対策として、防犯カメラの設置等、セキュリティの強化を図った。
- ・避難訓練時に不審者対応訓練を実施した。

オ 事故防止への取組について

- ・職員への事故防止の取り組みとして、事例検討・リスクマネジメントなどを通じて周知徹底・環境整備等を図り事故防止に努めた。
- ・事故発生時には被害を最小限にするため、マニュアルに従って応急処置・家族への連絡・医療機関への搬送・区役所への報告を迅速かつ適切に行った。また、事故報告書を作成し、事故再発防止に向けた取り組みを会議の場を活用しながら職員間で検討し、今後に向けて周知するよう努めた。
- ・自主事業等に関しては安全上の配慮を優先し、安心して参加出来る様に実施した。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・業務で取り扱う個人情報に関しては常に認識・確認すると共に、書類等は慎重に取り扱い管理する様徹底した。訪問の際に持ち出す書類等は、必要最低限度にする他専用バッグを使うなどし、書類は原則自宅に持ち帰らない様にした。
- ・書類は外部の人の目に触れないよう管理し、業務に個人所有のパソコンなどを使用しないことや外部への情報提供の際には必要最小限度にとどめるよう配慮した。
- ・自主事業等実施の際には事業実施前に参加者に個人情報の取り扱いについての説明を行い、活用についても事業のみに限定した。
- ・地区組織の名簿・関連書類に関しては、厳重な管理下に置き、情報を使用する際には必ず本人に承諾を得るように徹底した。

キ 情報公開への取組について

- ・運営協議会や法人の理事会、地域福祉に関する会議等で、ケアプラザの現状・課題について広く情報公開・共有を行う他、開かれた施設作りに取り組んだ。
- ・地域の関係機関の広報・チラシ（区広報誌・区及び各地区社会福祉協議会広報誌・地域活動紹介一覧・区内福祉保健関係機関広報誌・元気づくりマップ等）は受付前に設置し、常に最新の地域情報が閲覧出来るように更新を行った。
- ・地域住民に対しては広報誌「あなたと優駿」（回覧用・掲示用）及び各事業の紹介チラシ等を必要に応じ随時作成。地域の方に回覧・掲示依頼をし、各書面を通じて積極的に活動内容等を周知した。
- ・ケアプラザのホームページを活用・更新し、施設の機能と情報発信を行った。
- ・施設内に貸し室利用団体のサークル情報を掲示した。また、展示物や掲示物で各活動のPRが行えるようにも配慮した。

ク 人権啓発への取組について

- ・職員は内部研修や外部研修に参加し、人権についての理解を深め、業務に取り組んでいる。通所介護等では利用者の人権を尊重した介護を実施する事が出来た。
- ・ケアプラザエリア内の障がい事業所と連携し、自主事業の実施や、地域のイベントに協力することで障がい理解の啓発と、当事者との交流の機会を創出する事が出来た。また、障がい児の余暇支援活動「きらっとハピネス♡」の活動支援を行っており、中学生・高校生のボランティアは活動を通して障がいのある方についての理解や配慮、地域で一緒に生活していく仲間意識を体感し、思いやりの心を育てる機会とする事が出来た。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・施設利用者が利用しやすいようご意見を頂きながら、場所の設定、安全性・実用性を考慮した備品配置になるよう、定期的に検討した。
- ・施設内外で植物の育成を行い、季節感を味わって頂けるようにした他、ボランティアに協力頂き、植栽の手入れや鉢植えをお借りするなどして景観の美化を図った。
- ・利用者からのご意見・苦情を参考にし、施設内外の環境改善を図った。
- ・チラシ設置スペースを整理し、見やすく分かりやすいように配置を工夫した。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの3職種
(5月・6月のみ5名、それ以外の月は4名)
介護予防プラン作成のためのプランナー1名

《目標》

自立支援を目標に、予防プランの作成と、地域におけるインフォーマルサービスの情報提供をすることが出来た。

《実費負担》

●特に現在のところ徴収するものはない。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

地域の民生委員・児童委員連絡会や自治会役員会、地区社会福祉協議会、老人会、食事会、ケアプラザの各自主事業等の集まりで介護予防について紹介をした。

地域包括支援センターの事業内容についてパンフレットを作成し、配布した。

資質向上の為に各種研修(個人情報保護法、医療と介護、虐待、認知症予防プラン研修、事例検討会等)や施設見学(介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、通所介護施設等)を行った。

今後も利用者によりよい情報が提供できるようにしていきたい。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
306	300	305	322	318	317
10月	11月	12月	1月	2月	3月
325	317	330	318	316	314

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（介護支援専門員と兼務）
- ・ 介護支援専門員 5名（常勤4名、非常勤1名）

・ 区役所からの認定調査の委託を受け区外から受けた分を含めて 333 件実施した。

《目標に対する取組状況》

- ・ 自立支援を目標に置いたケアプランを提案した。そのためにご利用者・ご家族が長年培った生き方・暮らし方を受け止め尊重し、意欲が高まるよう支援を行った。
- ・ ケアプランを担当ケアマネジャーひとりで抱え込まないように、事業所全員で共有し緊急時でも迅速に対応できる体制を整えた。
- ・ 介護保険外のサービスを含めた情報収集を多元的に行い、効率的に活用できるよう項目別に整理し、より良い支援に活かした。
- ・ 介護保険法改正に合わせた研修を集団指導講習会資料をもとに行い法令順守に努めるように努力した。
- ・ 居宅委員会の中に「研修委員」「新人研修委員」「ファイリング委員」「帳票委員」を設置、分担して委員会活動を実施した。
- ・ 認定調査についても、判断基準に基づいて調査の実施をした。
- ・ 緊急災害時や苦情・事故・業務・感染症等のマニュアルの見直しを行った。
- ・ 地域の方が安心して暮らせるために地域ケア会議に出席し、地域で取り組める事を話し合った。

《実費負担》

- エリア外への認定調査実施時の交通費

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターを併設しており3職種との連携で相談対応や同行訪問等対応が早い。併設の特別養護老人ホーム「グリーンサイド清盛」と連携している。
- ・ 広報誌「あなたと優駿」にワンポイントアドバイスや介護保険情報やその他の情報提供を掲載し、地域の皆様にお知らせしている。
- ・ 介護保険関係等の最新の情報を共有化し利用者・家族等に情報提供できるように、権利擁護・虐待などの研修を年間で立て実施し、情報提供に努めた。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防 16 介護 120	予防 13 介護 116	予防 14 介護 114	予防 14 介護 116	予防 16 介護 117	予防 16 介護 117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防 15 介護 125	予防 15 介護 124	予防 15 介護 124	予防 16 介護 127	予防 17 介護 127	予防 18 介護 128

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 機能訓練（日常動作訓練、個別機能訓練）
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助等）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	704円
（要介護2）	831円
（要介護3）	963円
（要介護4）	1,095円
（要介護5）	1,227円

- 食費負担 650円
- 個別機能訓練加算 60円
- サービス提供体制加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 4.0%
- 入浴介助加算 54円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 認知症加算 65円
- オムツ（小） 183円
- オムツ（大） 211円
- パット（小） 30円
- パット（大） 40円
- パット（フラット） 70円
- 連絡帳 100円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9：30～16：40

《職員体制》

- | | |
|---------|-------------------------|
| 管理者 | 1名 |
| 生活相談員 | 2名（常勤1名・兼務1名） |
| 看護職員 | 4名（常勤1名・非常勤3名） |
| 介護職員 | 11名（常勤・専従2名 兼務1名 非常勤8名） |
| 調理員 | 2名（常勤1名・非常勤1名） |
| 機能訓練指導員 | 4名（常勤・兼務1名 非常勤・兼務3名） |
| 運転士 | 2名 |

《目標》

高齢者に、入浴、食事、機能訓練 等のサービスを提供し、身体的にも精神的にも健康で、在宅生活を送る為の支援を行う。また、それによって要介護者を抱える家族の介護負担の軽減を図る。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・併設の特別養護老人ホーム グリンサイド清盛の利用者、まきが原幼稚園・まきが原愛児園の園児との交流行事を定期的を実施。
- ・デイサービス利用者の家族、地域住民を対象に、介護技術や健康・福祉に関する情報を提供する「みんなで介護」を年6回実施。
- ・特別養護老人ホーム グリンサイド清盛と合同の防災訓練を1～2ヶ月に1回（年間11回）実施し、防災対策に努めている。
- ・日々のデイサービスの活動や、各種の行事の際に地域のボランティアの協力を得て、貸室利用者との交流を持つなど、地域住民と利用者との関係を深めている。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
505	491	530	518	544	546
10月	11月	12月	1月	2月	3月
565	532	498	452	458	518

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 機能訓練（日常動作訓練、個別機能訓練）
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助等）
- 運動器機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1766円
 - （要支援2） 3621円
- 食費負担 650円
- 運動器機能向上加算 242円
- 生活機能向上グループ活動加算 108円
- 予防通所サービス提供体制加算
 - 支援1 78円
 - 支援2 155円
- 介護職員処遇改善加算 4.0%
- オムツ（小） 183円
- オムツ（大） 211円
- パット（小） 30円
- パット（大） 40円
- パット（フラット） 70円
- 連絡帳 80円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9：30～16：40

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤）
- 生活相談員 2名（常勤1名・兼務1名）
- 看護職員 4名（常勤1名・非常勤3名）
- 介護職員 11名（常勤・専従2名 兼務1名 非常勤8名）
- 調理員 2名（常勤1名・非常勤1名）
- 機能訓練指導員 4名（常勤・兼務1名 非常勤・兼務3名）
- 運転士 2名

《目標》

利用者の生活機能の低下の予防や、認知症の予防の為にプログラムを実施する事によって、住み慣れた地域で継続して生活できるよう支援を行う。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・併設の特別養護老人ホーム グリンサイド清盛の利用者、まきが原幼稚園・まきが原愛児園の園児との交流行事を定期的実施。
- ・デイサービス利用者の家族、地域住民を対象に、介護技術や健康・福祉に関する情報を提供する「みんなで介護」を年6回実施。
- ・特別養護老人ホーム グリンサイド清盛と合同の防災訓練を1～2ヶ月に1回（年間11回）実施し、防災対策に努めている。

- ・日々のデイサービスの活動や、各種の行事の際に地域のボランティアの協力を得て、貸室利用者との交流を持つなど、地域住民と利用者との関係を深めている。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
54	60	67	64	58	58
10月	11月	12月	1月	2月	3月
50	39	48	40	29	45

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・各地域組織と連携をはかり、相談を円滑に進める体制を整える他、地域組織・団体からの問い合わせにも柔軟に対応できる様、協力関係を構築した。
- ・フォーマルサービス、インフォーマルサービスの冊子等を活用し、問い合わせへの対応や利用支援に役立てている。既存のボランティア団体への利用者の紹介等を行いながら、地域の活動を維持する為の支援も行った。
- ・関係部署に相談内容が正しく速やかに伝わるように職場内の連携を強化した。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・月1回程度実施の「5職種委員会」では、共催事業の打ち合わせ、地域情報の共有化、研修・会議の報告、提出書類の検討等実施。また、会議以外の場でも随時報告・連絡・相談が出来る体制作りを構築すると共に、各部署が実施している新規・既存の事業に相互に関わることで協力体制を維持した。
- ・権利擁護、認知症支援、子育て、障がい児・者支援、高齢者の生活支援等の事業実施においては、相互に情報交換・協力し、地域福祉の向上を目指した。
- ・「第三期地域福祉保健計画策定」において、所長及び地域包括支援センター職員にも地区別計画推進の支援チームの担い手として、行事への参加や会議への出席、推進方法の検討等で連携出来る体制を維持した。
- ・地域での介護予防事業や「元気づくりステーション」の活動維持においても連携。地域の活動が維持出来るように支援を継続して行った。
- ・高齢分野の地域支援をより具体的に行う為、高齢者包括支援委員会「瑞鶴」を10月より開始。地域包括支援センターの看護師、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの三者で、高齢者支援に特化した地区状況の共有、介護予防事業の検討や、生活支援体制整備事業についての勉強会などを実施。

3 職員体制・育成

- ・各職員は教養を積むよう努め、職場に愛着がもてる関係を築けるよう、連携を深めることが出来た。
- ・職員育成については、各部門において研修を行い、安全かつ効率的な業務遂行が出来るよう指導を行った。また定期的に施設内研修を行い、職種に即した専門知識、技術の向上を目指した。
- ・施設外研修に職員（非常勤職員を含む）は積極的に参加し、モチベーションの向上、情報交換等を行った。また、研修内容に関しては職種に関わらず職員全員が各委員会・職員会議等で情報共有出来るよう配慮を行った。
- ・生活支援整備体制事業においては本年度新設された事業である為、担当職員は積極的に研修に参加し、自己の研鑽に努めた。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域の関係機関・団体との連携や、地域福祉保健計画推進の為、各地区での会合・行事に積極的に参加させて頂き、顔の見える関係作りに努めた。また、生活支援体制整備事業開始に伴い、地域の高齢者のニーズ把握と情報交換のため、新たに万騎が原地区の老人クラブの支部会に定例参加させて頂くことになった。
- ・昨年度より連携を開始した地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」とは、親子の居場所づくりの創出に地域の力を得ながら取り組んだ。
- ・「万騎が原地域支えあいネットワーク」では、第三期地域福祉保健計画推進の為、近隣4連合間の情報交換と、福祉保健関係機関との連携を構築するための取り組みを進めた。(3月実施)
- ・本年度より障がい事業所と地域との連携を進めるための会議「万騎が原地域ケアプラザエリア 障がい事業所 地域連携検討会」を9月より開始。障がい理解についての積極的な啓発と行事等を通じた地域との連携を目的に検討を進めた。また、行事等で障がい事業所と地域との連携を進める為の仲介を行い、会議開催の為の契機とした。
- ・包括レベル地域ケア会議は生活支援体制整備事業の協議体との関連性を視野に入れ、地域課題の検討の場として開催した。(11月・2月)
- ・生活支援整備体制事業を視野に入れ、地域サロンの活動支援(情報交換)の一環として「地域サロン交流会」を実施。各サロンの情報交換を行った。(3月)
- ・自立支援協議会の担当として、啓発行事等に携わった他、区内障がい関係機関と区内ケアプラザの連携が図れる様、双方に向け情報提供等を行った。
- ・精神保健分野では「はーと・ねっと・あさひ」や「精神保健福祉セミナー実行委員会」に携わり、区民への啓発活動を行った。
- ・「旭区ひまわりの会」の定例会に参加。活動支援と、地区での「認知症サポーター養成講座」(3月実施)への協力要請を行った。
- ・本年度から災害ボランティア連絡会に参加。地域の防災意識の向上と災害ボランティアについての認知度向上の為の取り組みを推進した。
- ・エリア内の福祉保健活動団体「かけはしねっと」をはじめとした各団体等との連携・情報交換も行うと共に、活動支援も行った。

5 区行政との協働

- ・ケアプラザが地域の福祉保健の拠点としての機能を果たせるよう、行政とは連携・情報共有の体制をとり、地域とは行政との間を取り持つ調整機能を果たせるよう配慮した。
- ・区との事業は「旭ふれあい区民祭り」等や各担当部署との共催事業、ケアプラザの周知活動等で連携を図った。
- ・第三期地域福祉保健計画推進に関わる各地域の会議にも支援メンバーとして行政職員と共に出席し、推進内容の検討、情報共有、地区の取り組みの支援等協力しながら地区支援を行った。
- ・「元気づくりステーション」の活動継続や新規立ち上げに向けた地域との調整を区の担当者と連携を密にして行った。
- ・「よこはまウォーキングポイント」や「よこはま健康スタンプラリー」の実施対象施設にエントリーし、行政が目指す介護予防・健康維持の計画に即した取り組みを行った。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 広報誌「あなたと優駿」及び、掲示用広報誌を月1回発行し、地域住民へ福祉保健に関する情報提供や自主事業の募集案内、事業報告、地域の行事やイベント、サロン等の情報を掲載した。また地域で作成している広報物にケアプラザの事業の紹介を掲載して頂き、地区の広報と双方で協力しながら情報の共有と周知を行っている。
- ・ 万騎が原地域ケアプラザのホームページも広報誌と共に活用。地域の方に広く情報提供をする一助となっている他、活動団体「かけはしねっと」のホームページにも、引き続きケアプラザの情報を掲載して頂いており、双方を連携させて情報発信が出来るように取り組む事が出来た。
- ・ 情報提供として受付付近に地域資源の一覧や元気づくりマップ等、各種福祉保健に関するチラシ類を配置。
- ・ 地区の情報収集に関しては区広報の確認や、地域の方との日頃のやり取りや関係者との会議、地域の掲示板などで確認し、日々の業務に反映した。
- ・ 地域福祉保健計画の地区別計画について、掲示を施設内で行い、地域の方に周知すると共に推進にご協力頂ける様に働きかけを行った。
- ・ 貸室内や廊下に自主事業の紹介や、普段利用している活動団体の情報を掲示。参加者募集と活動の様子を地域の方に知って頂く一助となっている。
- ・ 地域包括支援センターの看護師や生活支援コーディネーターと共に作成した「元気づくりマップ」を会議の場や事業参加者に説明と共に配布。地域の中で行われている活動を知って頂く契機とした。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 新規の貸し室利用に関しては「貸し室利用の手引き」をはじめとした書類を用意し、地域の方が利用しやすいよう配慮した。
- ・ H29年4月からの貸室利用の新ルールに向け、内部研修を行う等新体制の準備を行った。
- ・ 部署内で接遇研修等を行い、受付・電話対応等の丁寧な対応と、分かりやすい説明を心がけた。
- ・ 新規貸室利用団体は多くはないが、引き続き活動場所としての情報提供・周知は、地域の行事や会議に出向く際に積極的に行っている。
- ・ 施設の立地上の問題に関しては、高齢者の増加により、地域の方より改善要望が出ているが、法人内の敷地である為、実現には至っていないため、自治会館や地域の交流拠点を活用しての事業展開を行った。
- ・ 地域の高齢化、地域・サークル活動の担い手不足が顕著である為、ボランティア育成を行いつつ、各事業は集える場を増やし、継続参加頂くことを主眼に置いて運営を行った。

3 自主企画事業

- ・各事業に関しては、その必要性や発展性を検討した上で実施。参加者募集の際には広報誌の他、個別の事業のチラシ作成や地区組織にチラシ配布をお願いする等の手段で新規の参加を募った。
- ・地区社協とも協力し、子育て支援事業への協力や、昼食会への協力、地区事業の手伝い等、施設外での共催事業も積極的に行った。
- ・子育て世代の親子が集える場づくりに注力し、「ひなたぼっこ」等と協力しながらケアプラザ内外で子育て支援に関する事業を実施した。
- ・本年度より南万騎が原駅の再開発で生まれた、地域の新たな場との連携も開始。「みなまきラボ」事務局と連携し、次世代を担う世帯への支援を中心に共催事業「出張ひろば in みなまきラボ」を実施。(1月より毎月実施)
- ・地元地域のボランティアや、サブコーディネーターのスキルを生かした事業を継続して実施。コグニサイズなどの運動指導や、子育て支援事業の担当等、得意分野を活かして活躍して頂いた。
- ・地域の障がい作業所との事業は引き続き実施。“工房アリアーレ”との共催事業やサロンでの事業所のパン販売、地区社協講演会や余暇支援活動で“まどか工房”の協力を頂く等、作業所との連携を継続的に行っている。
- ・自立支援協議会では、「あっぱれフェスタ」等の事業を地域の方への啓発として実施。
- ・「元気づくりステーション」支援に関しては、活動が地域の介護予防の拠点として維持できるよう地域包括支援センターとの連携で継続的な支援を行った。
- ・「合同歌声喫茶 2016」「あっぱれフェスタ」「旭ふれあい区民祭り」等の共催事業では区内ケアプラザと協力し、事業を実施することが出来た。
- ・学齢障がい児余暇支援事業「かりあ〜ず」の終了に伴い、余暇支援事業未実施のケアプラザが継続的に障がい児と関わる機会を創出する為、旭区地域訓練会と連携して訓練会の外出事業への協力を他の地域活動交流コーディネーターと行った。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア講座を始めとした自主事業等を通じて、地域の担い手を発掘・育成すると共に、継続的に活動が行える様に支援を行った。
- ・近隣中学校のボランティア部とも連携し、引き続き受け入れ態勢が維持できるように配慮した。
- ・有償ボランティア「リトルサービス」においては、依頼受付の調整を行った他、周知を含めた活動支援を実施した。
- ・ボランティア育成の為、小・中学生の職場体験等の受け入れや、施設職員による職業講話等調整。職場体験においては、適切な学習と指導、ボランティアへの結びつけが出来るよう内外部との調整を図った。
- ・学齢障がい児余暇支援活動「きらっとハピネス♡」の活動を継続的に支援。ボランティア募集の他、適切な受け入れが出来る様に調整を図った。
また、本年度は活動開始から10周年を迎えた為、10周年記念行事に向けた記念誌作成や各種調整の支援を行った。(記念行事は2月実施)

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・相談業務においては、主訴やサービス利用に関する的確に把握し、必要な情報提供や援助を行った。また、相談内容に関して出来るだけ早期に対応出来る様に、担当者が不在であっても他の職員で対応出来る様に、3職種で報告や連絡を行い情報共有し支援を行った。
- ・民生委員や老人会などの定例会や出前講座にて、地域包括支援センターの概要や機能を伝え、気軽に相談が出来る様にした。また、広報誌にて身近な相談窓口であることを継続して周知した。
- ・地域活動交流や生活支援コーディネーターと連携していきながら、介護保険サービスやインフォーマルサービス、行政サービスなどの資料を整理し、情報提供を行った。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・地域ケア会議では民生委員や老人クラブ、薬局、介護保険サービス事業者等に参加を呼びかけることで、ネットワーク構築の機会となった。
- ・地域福祉保健計画推進では、3職種が地区毎に担当し、地域の特性や活動の情報収集を行い、関係者とのつながりを作る事が出来た。
- ・インフォーマルサービスを利用する際、関係者との情報交換の中で、つながりを作る事が出来た。

実態把握

- ・訪問時や来所時、講座終了後にアンケートを実施し、意見や要望の把握をした。
- ・地域福祉保健計画推進の場に出席し、各地域の実態把握を行う事で、社会資源リストの修正を行った。地域活動交流や生活支援コーディネーターと情報共有することで地域の実態把握を行った。

2 権利擁護

権利擁護

- ・成年後見制度講演会を弁護士を講師として招き、旭区社協、南希望が丘地域ケアプラザと共催で実施。(1月) また、出前講座等で成年後見制度についての普及活動を行った。
- ・行政書士による成年後見制度や相続、遺言についての相談会を実施した。
- ・成年後見制度についての問い合わせがあった際には、資料や手引書を配布した。
- ・区内包括社会福祉士分科会合同で、消費者被害街頭防止キャンペーン実施。(3月)

高齢者虐待

- ・虐待ケースに対して、区役所やサービス事業所、医療機関等と連携しながら対応した。
- ・家族介護者教室「みんなで介護」を実施して、協力医の助言や情報交換や情報提供、気分転換の場を設けたが、参加者が少ないことが課題となっている。

認知症

- ・認知症の方の課題に対して、家族や民生委員やケアマネジャー等と連携しながら対応したり、成年後見制度の利用支援を行った。
- ・地域活動交流や旭区ひまわりの会、地区社協と連携し、「認知症サポーター養成講座」を実施。(3月)
- ・認知症や認知症予防について、広報誌や出前講座等で紹介した。
- ・旭区徘徊 SOS ネットワークシステムについて、地域の集まり等で案内し、徘徊高齢者の早期発見や対応の協力を呼びかけた。また、協賛店を訪問し、協力や連携について再度確認したり、新規協賛店の加入登録の支援を行った。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・介護予防支援業務担当者と毎月会議を開き、支援の難しいケース等について意見交換の場を持ち、適切なケアマネジメントへ結び付けられるようにした。
- ・利用者にとって適切な支援が受けられるよう、各サービス事業者との連携を図っていき、適宜担当者会議を開催した。委託の場合は、担当者会議に出向き、ケアマネジャーとの連携を図れるように努めた。また担当ケアマネジャーを通じて、利用者の生活支援を適宜行ない、充実した生活が図れるよう努めた。
- ・総合事業の開始に伴い、担当エリアの事業所のケアマネジャーからの質問などに適宜回答、また不明点については区に問い合わせるなどして明確に出来るよう努めた。また、地域の自主サークル等で参加可能な活動等があれば、利用者や担当者へ情報提供を行った。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・出前講座の依頼を受けた際に、地域住民のニーズを聞き取りながら、制度説明等の情報提供を盛り込んで講座を実施した。
- ・民児協に出向き、顔の見える関係づくりを行った他、一人暮らし高齢者見守り事業においても連携を取り合った。
- ・地域資源を更新し、事業者連絡会でケアマネジャーに情報提供を行った。
- ・広報誌において、地域包括支援センターの事業の紹介を行った他、ケアマネジャー事業所を訪問するなどし、業務の周知を行った。
- ・地域ケア会議において、民生委員や地域住民、活動団体や関係機関と課題を共有する事で、連携の輪が広がった。

医療・介護の連携推進支援

- ・3~4か月に1回、内科を中心とした医療機関23か所を訪問し、地域包括支援センター及び、地域ケアプラザの周知を行った他、行政からの情報提供物を配布した。
- ・旭区在宅医療相談室の研修に参加したり、地域ケア会議へも参加依頼をし、連携作りをした。

ケアマネジャー支援

- ・事業者連絡会を共催実施、テーマは「かかりつけ薬剤師って知っていますか?」「横浜市障害者後見的支援制度について」「心の病気と関わり方のポイントについて」「事例検討会」。各回 30 名程度の参加があった。
- ・エリア内のケアマネジャー把握の他、主任ケアマネジャーの確認も行き、情報収集した。
- ・事例検討会は 8~10 名程度の参加者を維持しながら実施した。
- ・ケアマネジャーからの相談には随時対応し、ケースによっては個別ケース地域ケア会議として取り上げた。
- ・旭ケアマネットには 10 月以降意見交換や会場準備といった役割を持って参加。
- ・区と合同で新任・就労予定のケアマネジャー研修を開催。個別研修は 11 月に 1 名を受け入れ、3 月に 1 名の受け入れを行った。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・個別ケース地域ケア会議では、主に地域住民と関わりのある事例を中心に関係機関と連携を取りながら、6 月・9 月・1 月・2 月に実施した。
- ・包括レベル地域ケア会議については、11 月と 2 月に実施。万騎が原・旭南部地区の介護予防関連活動に実際に関わっている方々をメンバーとして地域の課題について話し合った。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・現在活動している元気づくりステーション「ハッスル南本宿」の活動開始前に旭南部地区の住民の方へ元気づくりステーションの説明をしたことがきっかけとなり、H29 年 1 月より同地区において「南本宿健康麻雀クラブ」が開始の運びとなった。地域の中で人とつながりながら活動していくことが介護予防につながると伝えてきたことが形となった。
- ・「南本宿健康麻雀クラブ」は男性主体の元気づくりステーションとして地域の中で適切な活動が定着していけるよう、引き続き支援に努めていく。
- ・ケアプラザ、自治会館などを会場として各種介護予防事業を実施し、介護予防・健康維持に関する知識と、運動のきっかけを提供した。また地域の中で人とつながりながら生活していくことが重要であることを伝え、地域活動の情報提供をし、参加につながるよう努めた。
- ・既存の活動については適宜活動時に伺い、困りごとがないか確認し、それらに対し参加者募集の為に広報誌掲載などで周知をする他、活動維持の為に情報提供などを行った。
- ・現在活動中の元気づくりステーションについては、適宜活動状態を確認し、今後の課題（例・新規の参加者の募集、参加者の体力差等）を適宜確認・支援した。また生活支援コーディネーターにも活動支援の協力を依頼し、連携しながら行った。

6 生活支援体制整備事業

- ・ 所長をはじめ、地域包括支援センター、地域活動交流と連携を図りつつ、地域の会合や活動団体への挨拶に伺った。
- ・ 既存の介護予防事業、地域サロン、サークル活動に参加し、生活支援体制整備事業についての周知と、顔の見える関係性作りに努めた。
- ・ 地域の方に必要な情報が提供できるように、地域の活動団体から活動内容等の情報収集を行い、アセスメントシートや情報リストの作成を行った。
- ・ 三部門で連携し「元気づくりマップ」作成に向けて情報収集を行った。完成したマップは介護予防への関心を持って頂く為に配布を行った。
- ・ 包括レベル地域ケア会議を 11 月と 2 月に開催し、万騎が原地区と旭南部地区の課題解決についての検討と情報交換を行った。会議においては打ち合わせの段階から携わり、内容検討、報告までの過程を学ぶことができた。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 万騎が原地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,984	29,455	144	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	5,008	20,239	72,137	3,490	0
	その他	489	344	0	4,882	1,267	7,915	10	73
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	4,811	867	0	0	0
	利用者負担金収入	305	0	0	0	0	0	0	0
	雑収入他	0	0	0	0	0	619	0	0
	利用者等 外給食費収入	184	344	0	71	400	1,296	10	73
	積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	6,000	0	0
収入合計(A)	18,473	29,799	144	9,890	21,506	80,052	3,500	5,862	
支出	人件費	10,551	29,181	0	8,435	20,912	55,877	2,682	3,791
	事務費	2,188	2,515	0	1,974	3,624	10,016	396	
	事業費	417	513	94	0	0	3,689	179	24
	管理費	4,865	1,293	0	0	0	4,488	335	
	その他	1,028	344	0	71	400	1,296	10	73
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者等 外給食費支出	184	344	0	71	400	1,296	10	73
	消費税	844	0	0	0	0	0		
支出合計(B)	19,049	33,846	94	10,480	24,936	75,366	3,602	3,888	
収支 (A) - (B)	-576	-4047	50	-590	-3430	4686	-102	1974	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

No.01

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
子育て広場 「あいうえお〜っ！」 12回	親子	0	0	0	0	0	0
	144名						
	無料						
優駿のさと「サロン」 11回	高齢者	42255	7755	34500	2000	40255	0
	115名						
	1回300円						
お茶飲みサロン「いっぷく」 11回	高齢者	0	0	0	0	0	0
	22名						
	無料						
男の料理術！ 2回	高齢男性	3177	3177	0	0	0	3177
	7名						
	食材費自己負担						
そば打ち体験教室 3回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	38名						
	共催(収支は団体持ち)						
万騎が原わくわく体操 10回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	102名						
	無料						
健康チェックデー 12回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	117名						
	無料						
みんなで介護 5回	介護者・支援者	0	0	0	0	0	0
	72名						
	無料						
音楽サロン「ロココーネ」 11回	地域住民	30600	0	30600	30600	0	0
	153名						
	1回200円						
万騎が原笑い体操教室 27回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	146名						
	無料						
書道教室「扶桑」 24回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	181名						
	1ヶ月1100円(月2回)						
書道教室「睦月」 24回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	193名						
	1ヶ月1100円(月2回)						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

No.02

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
書道教室「如月」 24回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	181名						
	1ヶ月1100円(月2回)						
詩吟教室「吟声」 22回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	79名						
	無料						
折り紙クラブ「木蓮」 10回	地域住民	8700	0	8700	8700	0	0
	87名						
	1回100円						
囲碁クラブ「烏鷺」 24回	地域住民	15400	3000	0	12400	0	3000
	124名						
	1回100円						
音読の会「初音」 12回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	62名						
	無料						
お休み処「かけはし」 11回	地域住民(精神障がい対応)	0	0	0	0	0	0
	62名						
	共催(収支は団体持ち)						
いきいき会 26回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	124名						
	共催(収支は団体持ち)						
楽しい民謡体操教室 12回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	79名						
	無料						
万騎が原お楽しみ昼食会 4回	高齢者	2000	2000	0	2000	0	0
	188名						
	共催(収支は団体持ち)						
ホームカーリング倶楽部 3回	地域住民	6480	6480	0	0	0	6480
	45名						
	無料						
合同歌声喫茶2016 1回	高齢者	0	0	0	0	0	0
	436名						
	共催(収支は団体持ち)						
能楽に触れてみよう 12回	地域住民	80500	0	80500	80500	0	0
	161名						
	1回500円						
子ども書道教室「初風」 24回	小中学生	28200	0	28200	28200	0	0
	94名						
	1回300円						
ボランティア講座 車いす体験勉強会 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	2名						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

No.03

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
二俣川若葉会 舞踊発表会 2回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	51名						
	無料						
図書コーナー 常設	地域住民	0	0	0	0	0	0
	46名						
	無料						
優駿ミニギャラリー 常設	地域住民	0	0	0	0	0	0
	1730名						
	無料						
みんなでコグニサイズ 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	20名						
	無料						
聞き書きのわ 聞き書きボランティア育成講座 2回	地域住民	10100	6000	4100	6000	4100	0
	51名						
	500円						
カリグラフィー講座 10回	地域住民	47000	0	47000	0	47000	0
	47名						
	1回1000円						
公園で遊ぼう！ 6回	子供と保護者	2478	2478	0	0	0	2478
	336回						
	無料						
「自彊術」体験講座 3回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	51名						
	無料						
フットケア講座 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	4名						
	無料						
万騎が原地区敬老祝賀会 1回	高齢者	0	0	0	0	0	0
	300名						
	無料						
わたしと家族の お葬式について 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	9名						
	無料						
旭区自立支援協議会 あっぱれフェスタ 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	1200名						
	共催(収支は共催相手持ち)						
個別相談会 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	3名						
	無料						
ママの為のエクササイズ 2回	母親と子ども	17900	0	17900	17900	0	0
	大人27名子ども22名						
	大人500円子ども200円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

No.04

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
クラフトバックを作ろう！ 2回	地域住民	12950	6950	6000	6000	6950	0
	20名						
	1回300円						
パパと遠足 ～子ども自然公園～ 1回	父親と子ども	0	0	0	0	0	0
	45名						
	無料						
親子おやつ作り教室 1回	親子	1316	716	600	0	1316	0
	4名(2組)						
	1組300名						
えいごDE遊ぼう！ 2回	親子	4000	0	4000	4000	0	0
	16名(8組)						
	1組500円						
切り絵を楽しむ会 1回	地域住民	1188	688	500	0	1188	0
	5名						
	1回100円						
ケアプラザ大掃除会 1回	貸室利用団体	0	0	0	0	0	0
	12名						
	無料						
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業 1回	地域住民	235	235	0	0	235	0
	613名						
	無料						
災害に強くなろう!! ～かけはしねっと共催～ 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	9名						
	共催(収支は団体持ち)						
「自彊術」野の花 24回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	84名						
	共催(収支は団体持ち)						
優駿ミニ作品展 9月中実施	地域住民	0	0	0	0	0	0
	222名						
	無料						
成年後見制度講座 1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	7名						
	無料						
抹茶を楽しむ会 1回	地域住民	7220	7220	0	0	7220	0
	50名						
	無料						
包丁研ぎ講座 1回	地域住民	5838	2838	3000	2000	3838	0
	6名						
	500円						
手作り味噌を作りました！ 1回	地域住民	18000	0	18000	0	18000	0
	10名						
	1800円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

No.05

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア講師交流会 1回	自主事業ボランティア	15896	15896	0	0	15896	0
	17名						
	無料						
通所介護ボランティア交流会 1回	通所介護ボランティア	0	0	0	0	0	0
	3名						
	無料						
子サポサロンへ 遊びに来ませんか？ 1回	提供会員と地域住民	0	0	0	0	0	0
	9名						
	無料						
認知症サポーター養成講座 1回	地域住民	2000	2000	0	2000	0	0
	30名						
	無料						
布ぞうりを作ろう！ 3回	地域住民	9000	0	9000	9000	0	0
	18名						
	500円						
出張ひろばinみなまきラボ 3回	親子	10560	10560	0	0	10560	0
	95名						
	無料						
旭区自立支援協議会 「わっくる」うたごえ広場 1回	障がい者	0	0	0	0	0	0
	54名						
	共催(収支は団体持ち)						
ふれあい書き初め会 1月中実施	地域住民	0	0	0	0	0	0
	60名						
	無料						
ところに毛布を ～安心で“生きごち”のよい暮らしへ～ 1回	地域住民・当事者	0	0	0	0	0	0
	400名						
	共催(収支は共催相手持ち)						
万騎が原地域ケアプラザエリア 障がい事業所地域連携検討会 1回	障がい事業所など	3720	3720	0	0	3720	0
	32名						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.01

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て広場 「あいうえお 〜っ!」	<p><目的> 乳幼児から幼稚園入園までの子ども及び保護者等を対象に、地域の方たちと子育てについての交流や学習で多世代にわたるふれあいを行う。</p> <p><内容> 毎月、乳幼児から幼稚園入園までの子ども及び保護者等を対象に様々な子育て支援活動を行った。</p>	<p>毎月第4月曜日 ※11月・12月は 第3月曜日 (11回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
優駿のさと 「サロン」	<p><目的> 独居、日中独居、外出の機会の少ない高齢者を対象に仲間作り、閉じこもり予防や認知症予防を図る。</p> <p><内容> 参加者の要望などを取り入れながら、その月々で興味ある小物作り(縫い物、工作、お菓子作り)を行う。また、作業を通してお話をしてもらいながら皆で楽しいひと時を過ごして頂いた。</p>	<p>毎月第2木曜日 ※8月は休み (11回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶飲みサロン 「いっぷく」	<p><目的> 独居、日中独居、外出の機会の少ない高齢者や障がい者等がほっと一息できる場所を提供、地域住民同士の交流を図っていただくと共に、認知予防等を目的として簡単な手作業をして頂く。</p> <p><内容> 地域住民を対象に、お茶を飲みながら簡単な作品作りを通して、楽しくおしゃべりをして頂いた。</p>	<p>毎月第4土曜日 ※8月は休み (9回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理術	<p><目的> 地域住民同士の交流と老後の自立の為、手軽なメニューの習得を目的に単発講座として実施。</p> <p><内容> 地域の男性が集い、楽しみながら料理の基礎を学んで頂く単発講座を実施した。 献立： 6月 ハンバーグ作り・春雨コーンスープ 10月 ロールキャベツ</p>	<p>年2回 (6月・10月)</p>

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.02

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
そば打ち 体験教室	<p><目的> 地域住民の多世代交流の場の提供と男性の調理参加とそば打ち研修を目的に事業を実施する。</p> <p><内容> 生粉打ち愛好会協力の元、季節ごとの美味しいそば作りを目指した。また、試食しながら楽しくそば談義をして頂いた。</p>	<p>年3回 (4月・9月・12月)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原 わくわく体操	<p><目的> 住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられるようにするのを目的に、高齢者を対象とした体操等を行う。</p> <p><内容> 健康維持と介護予防のため、頭と体を同時に使った運動等を実施した。</p>	<p>毎月第3月曜日 (10回) 6月開始</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チェック デー	<p><目的> 住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられるよう目指す、高齢者を対象としたサロン活動。</p> <p><内容> 地域の方を対象に健康チェック（身長・体重・血圧・脈拍・体脂肪測定）や体力測定（握力・開眼片足立ち時間測定・長座位体前屈）、ストレッチング、はまちゃん体操等を行い、健康維持を図った。</p>	<p>毎月第1月曜日 (12回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで介護	<p><目的> 地域の介護者に役立つ講座や交流会等を行う。</p> <p><内容> 協力医による健康講座と地域住民同士で介護についての勉強会や話し合いを行った。</p>	<p>年5回 (4月・5月・9月 10月・1月)</p>

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.03

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音楽サロン 「ロココーネ」	<p><目的> 地域の高齢者を対象に居場所作りや地域住民同士の交流の場を目的として事業を実施する。</p> <p><内容> 地域高齢者の居場所作りを目的に、講師の先生の指導のもと、歌を歌う他、楽曲にまつわるエピソードについてや、音楽鑑賞など行った。また、不定期で披露する場を設け、そのための練習を行った。</p>	毎月第1月曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原 笑い体操教室	<p><目的> 介護予防と地域活動参加者の発掘、多世代の参加者交流を目的にラフターヨガを実施する。</p> <p><内容> 介護予防と多世代の参加者交流を目的にラフターヨガを実施した。作り笑いで健康の増進を図るラフターエクササイズと、リラクゼーション等実施した。</p>	毎月第1・3 木・金曜日 (27回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道教室 「扶桑」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を書道を通して図って頂いた。講座に関しては地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、作品は廊下に展示し、ご利用者の方々などにも見ていただいた。その他、参加者は作品を月刊誌に提出し評価を得た。実施時間は10:00～11:30</p>	毎月第1・3水曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道教室 「睦月」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を書道を通して図って頂いた。講座に関しては地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、作品は廊下に展示し、ご利用者の方々などにも見ていただいた。その他、参加者は作品を月刊誌に提出し評価を得た。実施時間は12:00～13:30</p>	毎月1・3水曜日 (24回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.04

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
書道教室 「如月」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を書道を通して図って頂いた。講座に関しては地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、作品は廊下に展示し、ご利用者の方々などにも見ていただいた。その他、参加者は作品を月刊誌に提出し評価を得た。実施時間は14:00～15:30</p>	毎月1・3水曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
詩吟教室 「吟声」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を詩吟を通して図って頂いた。講座に関しては地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、不定期で披露する場を設け、そのための練習を行った。</p>	毎月2・4木曜日 (22回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
折り紙クラブ 「木蓮」	<p><目的> 地域高齢者の地域参加や住民同士の交流、介護予防の為に事業を実施する。</p> <p><内容> 地域住民を対象にボランティア講師の方にご協力頂き、毎月違う折り紙の作り方の指導をして頂いた。</p>	毎月第3水曜日 (8月・12月休み) (10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁クラブ 「烏鷺」	<p><目的> 生涯学習、地域住民同士の交流や介護予防を目的に実施する。</p> <p><内容> 地域住民の交流と男性の外出機会の創出を目的に囲碁クラブを開始。参加者を初心者とある程度囲碁が出来る方に分け、初心者には基本ルールの説明の他、対局を実施。中級者には練習問題を実施した後、中級者同士の対局を実施し、後に講評等行った。</p>	毎月第1・3土曜日 (24回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.05

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音読の会 「初音」	<p><目的> 地域住民を対象に、地域で活躍できる方の育成や介護予防の為、実施。</p> <p><内容> 参加者は昔話を声に出して一人ずつ読み、発声方法等学んだ。</p>	毎月第4木曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お休み処 「かけはし」	<p><目的> 誰もが気軽に立ち寄れるサロンとして、作業所の障害者など幅広く参加できるお茶飲み会を実施。</p> <p><内容> 福祉保健活動団体の「かけはしねっと」との協力で実施した。誰もが気軽に立ち寄れるサロンとしてお茶飲み会を実施した。 昨年度より、ほっとぼっと及び旭区役所の協力により精神障がい者の参加者の受け入れを開始した。</p>	毎月第3木曜日 (11回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき会	<p><目的> 認知症予防を目的とした園芸活動を行った。</p> <p><内容> 認知症予防を目的とした園芸活動を隔週開催にて実施した。 園芸は畑の管理の他、各種作物の栽培・管理・収穫等実施した。その他参加者が持ち寄った企画により様々な活動を行い、参加者同士の交流と生きがい作りを行った。</p>	毎月第1・3金曜日 (26回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しい 民謡体操教室	<p><目的> 地域住民の健康増進・介護予防の為、軽運動を実施する。</p> <p><内容> 民謡を通じた軽運動の会を実施した。 軽運動前のストレッチを実施する他、東京音頭などの民謡に合わせた軽運動を行った。(一部マットを利用した柔軟運動も行った)</p>	毎月第3火曜日 (12回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.06

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
万騎が原 お楽しみ昼食会	<p><目的> 万騎が原お楽しみ昼食会の食事後のプログラムに協力。年4回、介護予防を目的に各種プログラムを実施。</p> <p><内容> 万騎が原地区社協主催事業に介護予防を目的にプログラムに協力した。</p>	6月・10月 1月・2月 に協力(4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホームカーリング 倶楽部	<p><目的> 地域住民の介護予防・健康増進を目的として事業を実施。</p> <p><内容> ホームカーリングの普及に向けた事業。ゲームのルール説明・得点計算について練習会の他、トーナメント形式で競い合った。</p>	5月・12月・2月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2016	<p><目的> 歌好きな方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作る。区内の全ケアプラザを紹介。</p> <p><内容> 地域の方による運営で、区内全ケアプラザは後方支援に。今年は復興支援コーナーを設け今までご寄付いただいた義援金の報告も行った。今年も募金活動を行い¥181,188-の義援金が集まり後日、被災地に届けた。</p>	5月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
能楽に触れて みよう	<p><目的> ボランティア講師の活躍の場の提供と地域ニーズ発掘、生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 地域住民を対象にボランティア講師の協力で能楽についての指導を実施して頂いた。 各月の題材についての用語の説明と解説、音読と実演などを行った。</p>	毎月第1水曜日 (12回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.07

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども書道教室 「初風」	<p><目的> ボランティアの活躍の場の創出と、こどもの健全育成を目的に実施。</p> <p><内容> 地域の子供を対象に、ボランティア講師の指導のもと、教科書を参考に書道教室を実施。 子どもの年齢に応じて毛筆の他に硬筆の指導を行った。</p>	毎月第1・3土曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座 車いす体験勉強会	<p><目的> 地域住民ボランティア育成を目的に講座を実施。参加者が地域社会へ貢献できるように働きかける。</p> <p><内容> ボランティア育成を目的に実施。 ボランティア活動に際しての心構えについての講義と、高齢者のボランティア活動を主眼においた車椅子体験指導等実施。</p>	6月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
二俣川若葉会 舞踊発表会	<p><目的> 地域住民を対象とした余暇の提供と、住民同士の交流、活動団体の活躍の場の創出を目的に実施。</p> <p><内容> 地域の活動団体の協力のもと、日本舞踊のお披露目会を実施。 活動団体の日ごろの練習の成果を地域の方等に見て頂いた。</p>	6月・12月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
図書コーナー	<p><目的> 地域社会の憩いの場として、地域の方々が気軽に立ち寄れるような場所を提供する。</p> <p><内容> 本の貸し出し</p>	常設

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.08

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
優駿 ミニギャラリー	<p><目的> 地域社会の憩いの場として、地域の方々が気軽に立ち寄れるような場所を提供する。</p> <p><内容> 地域の人が描いた絵画・絵手紙・習字等の作品の展示</p>	常設

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで コグニサイズ	<p><目的> 住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられるよう目指す。高齢者を対象とした体操等を行った。</p> <p><内容> 健康維持と介護予防を目的に、コグニサイズを活用した運動を行った。</p>	5月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
聞き書きのわ 聞き書き ボランティア 育成講座	<p><目的> 聞き書き講師に協力を頂き、ボランティアの育成講座を行う。</p> <p><内容> 講師による聞き書きの仕方についての指導と、ゲストスピーカーによる聞き書きの実践等を通してボランティアを育成した。</p>	5月・6月 (全3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カリグラフィー 講座	<p><目的> 地域交流と生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 地域交流と生涯学習を目的に地域のボランティアに協力頂き、カリグラフィー講座を実施。道具の使い方、書き方の指導を継続して実施して頂いた。</p>	毎月第3月曜日 (10回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.09

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
公園で遊ぼう！	<p><目的> 屋内で遊ぶことが多い親子を対象に、外遊びのきっかけを作る他、公園での遊び方について伝えるために地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」に協力頂き実施。</p> <p><内容> 万騎が原公園を使用しての公園遊びを実施。砂場や遊具を使って遊んで頂くほか、最後にはひなたぼっこの講師の協力のもと、みんなで出来るゲーム等実施。また、事業には万騎が原地区社協をはじめとした地域の方にも協力頂いた。</p>	<p>毎月第2水曜日 ※雨天中止 (7回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「自彊術」体験講座	<p><目的> 地域の方を対象に健康体操の「自彊術」を体験して頂く。</p> <p><内容> 地域の方の介護予防と健康増進を目的に講座を実施。ボランティア講師に「自彊術」についての解説と、各動きについて、通常よりゆっくりと高齢者向けに実施して頂いた。</p>	<p>7月 (全3回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フットケア講座	<p><目的> 地域住民の健康増進や介護予防を目的に地域包括支援センターとの共催で事業を実施。</p> <p><内容> 地域包括支援センターより足の健康とケアについての講義と、地域活動交流より足浴とフットマッサージ指導を行った。</p>	<p>9月 (1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原地区敬老祝賀会	<p><目的> 万騎が原地区の高齢者の方をお祝いする会。地区社会福祉協議会主催の事業にケアプラザも介護予防の周知を目的に参加。</p> <p><内容> 万騎が原地区社協主催の万騎が原地区の敬老祝賀会に誘導係や体操指導で協力した。</p>	<p>9月 (1回)</p>

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わたしと家族のお葬式について	<p><目的> 地域の方を対象に生涯学習と、いざという時の対応について学ぶために講座を実施。</p> <p><内容> 地域の方を対象に講座を実施。急に葬儀になった時の連絡先や葬儀の方法、葬儀社選びのポイントを学んだ他、エンディングノートの書き方を学んだ。</p>	9月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区自立支援協議会 あっぱれフェスタ	<p><目的> 地域住民等を対象に、旭区内の障がい関係作業所・関係機関のPRを目的にイベントを実施。昨年度までのぱれぱれフェスタと、地域生活支援フォーラム内で実施していたD-1グランプリを融合させた形で、「ぱれっと旭」と旭公会堂を会場に3日間にわたり開催。</p> <p><内容> 旭区内の障がい関係作業所・関係機関の物品販売を行った他、地域のボランティアによるアトラクションの披露など実施。3日目の公会堂を使用するのD-1グランプリでは作業所の当事者が出し物を披露した。</p>	6月・7月 (3日間)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
個別相談会	<p><目的> 相続や遺言の心配、成年後見制度の利用について、行政書士に個別に相談し、安心した生活ができるように相談会を行なう。</p> <p><内容> 相続や遺言、成年後見制度を内容とした個別の相談を、行政書士3名が相談員として受ける。またケースに応じて地域包括支援センター職員が立ち会った。</p>	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママの為のエクササイズ	<p><目的> 地域の子育て支援の推進のため、地域のボランティア講師の協力により母親(親子)を対象としたエクササイズを実施。</p> <p><内容> 母親を対象とした、エクササイズとヨガを組み合わせた運動を実施。親子での参加も可能で、会場内で子供を遊ばせながら母親にはエクササイズやヨガをして頂いた。3月開催時は子供の計測会とヨガを実施した。</p>	10月・3月 (2回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.11

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クラフトバック を作ろう！	<p><目的> 高次脳機能障害当事者が地域住民と触れ合える機会を創出する為、事業を実施。作業所の協力により作業の指導者として当事者の方に来て頂き、地域の方を対象に事業を実施。</p> <p><内容> 地域の方と障がいのある方の交流を目的に、高次脳機能障害の作業所「工房アリアーレ」の協力により実施。アリアーレの利用者が講師となり、地域の方を対象にエコクラフトを使用したクラフトバックの作成講座を実施した。</p>	10月・11月 (2回講座)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと遠足 ～子ども自然公園～	<p><目的> 父親の育児参加を促すことと、地域子育て支援拠点との連携のきっかけ作りの為に事業を実施。</p> <p><内容> 地域の父親と子(未就園児)を参加対象とした地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」との共催事業。こども自然公園を会場に公園内散策と、ちびっこ動物園で小動物と遊んだ他、広場で父親同士の交流を図って頂いた。</p>	11月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子おやつ 作り教室	<p><目的> 地域の親子を対象に、子育て支援と親子同士の交流を図って頂く事を目的に実施。</p> <p><内容> 地域の親子を対象におやつ作りを実施。焼きドーナツ作りを楽しんで頂いた。</p>	11月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えいごDE 遊ぼう！	<p><目的> 地域の親子を対象に、子育て支援と親子同士の交流を図って頂く事を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師に協力頂き実施。2回講座はそれぞれ対象者を分けて実施。初回は未就園児、2回目は幼稚園児を対象とした。内容については、初回・2回目同様で、英語の絵本を鑑賞する他、絵本に合わせた歌や踊りを親子で一緒に行った。</p>	12月 (2回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
切り絵を楽しむ会	<p><目的> 地域交流と生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容>地域交流と生涯学習を目的に切り絵を作成。正月飾り(酉)を作成した。</p>	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ大掃除会	<p><目的> 施設の適正利用の周知と、施設に愛着を持って頂くため、普段施設を利用されている活動団体の協力を協力して頂き、貸し室内清掃を実施。</p> <p><内容> 施設の適正利用の周知と、施設に愛着を持って頂くため、普段施設を利用されている活動団体に協力して頂き、貸し室内清掃を実施。 調理室を含めた貸し室のすべてを参加した活動団体の代表者が分担して清掃した。</p>	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	<p><目的> 区内ケアプラザのPRの為、行政・PRコーナーに出展。</p> <p><内容> (1)射的ゲームコーナー(主に子ども向け) (2)ご意見頂戴コーナー(主に保護者向け) (3)掲示物 ア 旭区の地域ケアプラザの全図パネル イ 地域福祉保健計画啓発パネル (4)配布物((1)(2)にご参加頂いた方にお渡し)※150セット ア ケアプラザPRパンフレット イ 各ケアプラザPRチラシ ウ 地域福祉保健計画啓発パネル エ 啓発グッズ・ノート</p>	10月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
災害に強くなろう!! ～かけはしねっと共催～	<p><目的> 来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知ってもらう機会を作る。</p> <p><内容> 福祉保健活動団体の「かけはしねっと」との協力で実施。 地域住民やエリア内近隣障がい事業所の利用者を対象として、防災センターの見学と体験を行った。</p>	11月 (1回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.13

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「自彊術」 野の花	<p><目的> 地域の方を対象に健康増進・介護予防を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師に「自彊術」についての解説と、各動きについて、通常よりゆっくりと高齢者向けに実施して頂いた。体験講座実施後に、自主化を目指し、3月末に自主化。</p>	<p>毎週火曜日 8月開始 (32回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
優駿ミニ作品展	<p><目的> 地域住民や普段施設を利用されている方々の作品を展示し、普段の活動と、作品の鑑賞を通して地域での活動を知って頂く。</p> <p><内容> 貸し室利用団体・地域住民・自主事業作品・通所利用者の作品・併設施設利用者等の作品を展示し、地域の方に見て頂いた。</p>	<p>9月 (1週間程度)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見 制度講座	<p><目的> 成年後見制度についての周知を図り、知識を高めて頂く。</p> <p><内容> 講師として弁護士の松本崇氏を招いて、成年後見制度の概要と実務の詳細についての講演。又あんしんセンターの案内も行った。</p>	<p>1月 (1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
抹茶を楽しむ会	<p><目的> 地域住民同士の交流を目的に抹茶を楽しむ機会として実施。</p> <p><内容> 地域住民同士の交流と日本文化に触れる機会の創出の為、抹茶を楽しむ会を実施した。地域住民をはじめとした施設利用者を対象に、抹茶をふるまった。</p>	<p>1月 (1回)</p>

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.14

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
包丁研ぎ講座	<p><目的> 地域住民ボランティア育成を目的に講座を実施。包丁研ぎについて学び、参加者が地域社会へ貢献できるように働きかける。</p> <p><内容> 地域住民のボランティア育成を目的に、ボランティア講師に協力して頂き、包丁の研ぎ方についての指導と、包丁の切れ味を試す為に太巻き作りを実施した。</p>	1月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手作り味噌を作りました！	<p><目的> 地域住民を対象にした食を通しての健康づくりを推進する。</p> <p><内容> 「横浜友の会 旭支部」の方に協力頂き、家庭で出来る味噌作りを実施。味噌作りの工程を実際に行う事で、食についての興味関心を高める為と、適切な食生活の推進を図るために実施した。</p>	2月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講師交流会	<p><目的> 地域活動交流の事業に日頃ご協力いただいているボランティア講師の方を対象に日頃の感謝と講師同士の交流を目的に交流会を実施。</p> <p><内容> 職員自己紹介・各講師からの事業・自己紹介の他、ホームカージングの体験会を実施した。</p>	3月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
通所介護ボランティア交流会	<p><目的> 通所介護のボランティア活動にご協力いただいている方を対象に日頃の感謝とボランティア同士の交流を目的に交流会を実施。</p> <p><内容> 職員自己紹介・各ボランティアからの自己紹介の他、日頃の活動についての情報交換や施設へのご意見を出して頂いた。</p>	3月 (1回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.15

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子サポサロンへ遊びに来ませんか？	<p><目的> 地域の子育てサポートシステムの提供会員の親睦と情報交換の為に開催。</p> <p><内容> 地域の子育てサポートシステム提供会員と、活動に興味のある地域の方を対象に、「活動をしてよかったこと」「他の会員の状況」「利用方法」「活動していて困った事」等の意見交換を実施。その他消しゴムハンコ作りで懇親を深めた。</p>	3月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p><目撃> 地域住民を対象に、地域で認知症の方の見守りや支援を行うキャラバンメイトの養成を行う講座。</p> <p><内容> キャラバンメイト「ひまわりの会」と万騎が原地区社協との協力のもと、認知症の方の見守りや支援を地域で行なう認知症サポーターの養成講座を実施。認知症についての概要の他、実際に認知症の方との関わり方について、寸劇を交えながら講演して頂いた。</p>	3月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布ぞうりを作ろう！	<p><目的> 介護予防と地域住民同士の交流、生涯学習(文化学習)を目的に布ぞうりを作成する事業を実施。</p> <p><内容> 布ぞうりの作り方についての説明・鼻緒の作り方・実演と実践等地域のボランティア講師の指導のもと実施した。</p>	2月 (各3回講座) 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張ひろば inみなまきラボ	<p><目的> ケアプラザから離れたエリアでの子育て支援の場の創出と、情報交換の場として実施。</p> <p><内容> 南万騎が原駅の再開発で出来た地域交流拠点「みなまきラボ」を活用し、ひなたぼっこに協力頂き親子を対象に子育て広場を実施。 毎月1回、親子同士で遊ぶ場と情報交換の場として実施した。</p>	1月開始 (3回)

平成28年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.16

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区自立支援協議会 「わっくる」 うたごえ広場	<p><目的> 区内作業所間の連携・交流及び成人の余暇支援のため実施。</p> <p><内容> 区内作業所間の連携・交流及び成人の余暇支援のため、「わっくる」のプログラムの一つとして実施。ピアノの伴奏に合わせてみんなで歌を歌う。</p>	2月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい書き初め会	<p><目的> 生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 地域住民同士の交流と文化に触れる機会として一定期間実施した。書いていただいた作品は廊下に展示した。</p>	1月 (1週間程度)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こころに毛布を ～安心して“生きご こち”のよい暮らしへ～	<p><目的> 地域住民や支援者等を対象に、精神障害の方について学んで頂き、当事者との関わり方と地域で共に生活する仲間としての認識を持って頂く。</p> <p><内容> 精神保健福祉セミナー。当時者の体験発表と、上智大学教授の藤井達也氏による、「こころの毛布？～安心して生きごこちのよい暮らしづくりへ～」の公演を実施した。</p>	2月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原地域 ケアプラザエリア 障がい事業所 地域連携検討会	<p><目的> 障がい事業所と地域との連携を図り、障がい理解について啓発を進めていくためのネットワーク会議を実施。</p> <p><内容> 万騎が原地域ケアプラザエリア内の障がい事業所と地域の福祉保健活動団体の協力頂き、地区組織と障がい事業所との連携を深めるためのネットワーク会議を実施。今回は各事業所の機能紹介と、地域との連携についての事業所ごとの取り組み状況を報告し合った。</p>	3月 (1回)